

2-3 モデルエリア

(3月27日更新)

本共同研究における調査対象エリアである東寺方小学区について紹介します。令和2年度は、以下のモデルエリアを対象としたアンケート調査とエリアミーティングを実施しました。

東寺方小学区の地番

- ・和田 1 番地, 1686 番地の 2, 1717 番地～1800 番地
- ・落川 1138 番地～1235 番地
- ・東寺方 99 番地～100 番地, 490 番地～579 番地, 681 番地～691 番地, 702 番地～704 番地, 759 番地～875 番地
- ・東寺方 一丁目
- ・一ノ宮 一～四丁目
- ・桜ヶ丘 三～四丁目

当該エリアは、大栗川を囲む美しい情景の平地、いろは坂を上がっていく丘陵地など、自然環境豊かな一帯です。その一方、昨今の大型台風や豪雨といった際には、避難を要する

場所も多く存在します。また、多摩ニュータウンよりも遥かに長い歴史を持つ背景もあり、地域活動に関連する団体数は20を超え、地区によっては地域活動を担う代表の方々による積極的な人のつながりがなされています。

その上で、今後の検討課題として、次の点が挙げられると考えられます：

より多くの方々が地域の活動に参画することで、無理なく適度に持続性ある地域のしくみを確立していくことが、安心して住み心地よく暮らしていくために重要な役割を担っていく。

また、これまで地域を支えとなっているそれぞれの団体・組織がよりお互いに有機的につながっていくことで、リスクや不確実性を高めることなく、各々に過度な負担がかからない管理・運営方法を築いていくことが期待されます。本エリアには、地域活動参画に積極的な関心を持つ頼もしい10代の若者もおられ、将来のためにできることを少しずつ手がけておくことが重要と位置づけられます。